

第3節 低炭素社会・エネルギー転換

創造戦略 7 低炭素都市創造戦略 ～環境負荷の少ない都市の形成～

10年後の目指すべき姿

地下鉄駅などの交通結節点³²を核に都市機能が集約しており、買い物や通院など日常生活に利用する公共交通の利便性も確保されることで、自家用車等での移動による温室効果ガスの排出量が抑制される、環境に優しい交通体系が確立した持続可能な集約型の都市が構築されています。さらに、豊かな自然と調和することで、都市を取り囲む自然の恩恵も享受できるみどり豊かで環境負荷の少ない都市が形成されています。

パラダイム
シフト

実現するために変わります！

環境に優しいコンパクトな都市の構築

- ◆環境負荷の少ない都心のまちづくりの推進
- ◆地下鉄駅周辺などへの生活関連機能の導入支援



主な取組

7-① 持続可能な集約型の都市への再構築

低炭素都市への再構築を進めます。

- 札幌市都市計画マスタープラン³³を見直すとともに、低炭素まちづくり計画の策定に向けた検討を進めます。
- 集約型の都市への再構築に向け、都市再開発方針を見直します。

都心や地下鉄駅周辺などに都市機能の集積を促進します。

- 都心まちづくり計画の見直しを行います。
- 交流拠点（札幌駅、大通、創世）の整備や創成川以東のまちづくりを推進します。
- 地下鉄駅周辺などで、区役所など公共施設の重点的配置を進めるとともに、生活関連機能の導入などへの支援を行います。
- 地下鉄白石駅では、直結する区役所を中心とした街区の整備を進めます。



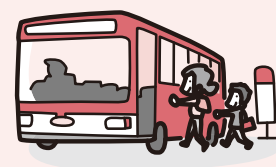
³² 【交通結節点】 複数あるいは異種の交通手段の接続が行われる場所。

³³ 【都市計画マスタープラン】 これからの札幌の都市づくりの指針として、目指すべき都市の将来像と、その実現に向けた取組の方向性を全市的視点から整理した計画。

7-② 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

公共交通の利用促進を図ります。

- 再開発を活用したバリアフリー化の促進等を通じて、駅周辺施設などの利便性向上を図ることなどにより、公共交通の利用を促進します。
- 学校や地域などで、公共交通について学ぶ機会を設けることなどにより、「公共交通を皆で支える」という市民意識醸成を図ります。



使いやすい地域公共交通体系を確立します。

- 地域需要に応じた路線バスルートの見直し等の運行の最適化を図る取組や、多様な主体と連携した生活交通を確保する取組などを推進します。

都心や地下鉄駅周辺の移動の快適性や交通環境の向上を図ります。

- 路面電車をループ化させるとともに、3地域（都心・創成川以東・桑園）への延伸を検討します。
- 観光情報や沿線地域のイベント情報などを電停から発信するシステムの導入や、路面電車沿線の魅力づくり指針を作成し、景観まちづくりを推進します。
- 沿道ビルの地下空間への接続や、空中歩廊・民有地におけるオープンスペースの整備などを促進します。
- 再開発等による民間敷地への駐輪場の拡大や公共駐輪場の整備、駐輪場附置義務条例の見直し、自転車等放置禁止区域の拡大など、総合的な駐輪対策を推進します。
- 自転車利用に関するルール・マナーの周知・啓発に加え、自動車ドライバーに対しても自転車の車道走行に配慮する意識啓発を行うとともに、自転車走行空間の明確化に向けた取組を推進します。



7-③ 自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

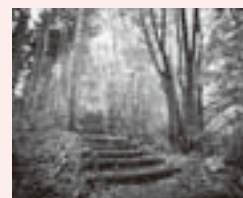
生物多様性の保全を推進します。

- 生物多様性に関する普及啓発を推進するとともに、生物生息状況を把握するための調査・モニタリングを実施します。



みどりの創出とネットワーク化を推進します。

- 再開発や緩和型土地利用計画制度の運用、緑化活動への助成などにより、民有地における緑化を促進します。
- 都心における新たなオープンスペースの創出を図ります。
- 地域特性や市民ニーズに応じた公園の機能再編・再整備を進めます。
- 子どもを見守るボランティアの養成などを通じて、既存の公園や公共空間などを活用しながら子どもが自由に遊べる場（プレーパークなど）の拡充を図ります。



森林の保全や市街化調整区域³⁴の特質を生かした土地利用を進めます。

- 森林の機能や天然・人工林などの区分に応じた森林管理手法を検討・実施します。

³⁴【市街化調整区域】無秩序な市街化を防止するために、市街化を抑制すべき区域をいう。

10年後の目指すべき姿

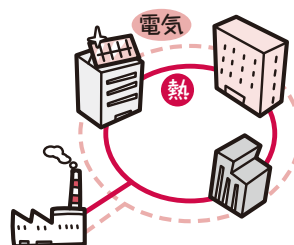
次世代エネルギーシステム³⁵が普及するとともに、新たな技術が積極的に取り入れられています。また、効率が良く安定したエネルギー供給を支える自立分散型のエネルギーネットワークの整備が効果的に展開されています。さらに、市民の環境意識も高まることで、家庭や企業などの省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギーが進むとともに、廃棄物の発生・排出抑制の更なる促進やごみ焼却エネルギーの効果的な活用などにより、循環型社会が実現しています。

パラダイム
シフト

実現するために変わります！

効率的で安定したエネルギーネットワークの構築

- ◆エリア単位でのエネルギーネットワーク構築の促進
- ◆都心のエネルギーマネジメントの促進



||||||| 主な取組 |||

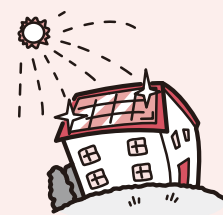
8-① 次世代エネルギーシステムの普及促進

エネルギー政策に関わる構想などを策定します。

- エネルギー政策に関わる将来的な構想と中長期的な基本計画を策定します。

先進的なシステムなどの普及を促進します。

- 省エネルギー・再生可能エネルギー機器導入支援の強化や、メガソーラー等の大規模再生可能エネルギーシステムの設置への支援などを推進します。
- 遊休地などへの太陽光発電を設置する事業者と土地所有者等のマッチングを推進します。
- 積雪寒冷に関連する技術を導入した札幌版次世代住宅³⁶や次世代自動車の研究・普及を促進します。
- コージェネレーションシステム³⁷や蓄電池・再生可能エネルギーを効率的に組み合わせるエネルギーベストミックスのシステムの設置を支援します。



広域的な再生可能エネルギーの普及を促進します。

- 札幌市近郊における再生可能エネルギー導入の支援や広域的な活用の方向性の検討を進めます。

³⁵ 【次世代エネルギーシステム】 太陽光発電などの再生可能エネルギーシステムや電気と熱を同時に作り出すシステムなど、効率的なエネルギー利用を可能とするシステム全般をいう。

³⁶ 【札幌版次世代住宅】 独自の高温熱・高気密住宅の基準として定めた要件を満たした住宅のこと。

³⁷ 【コージェネレーションシステム】 発電時に発生した排熱を、冷暖房や給湯などに利用し、総合的なエネルギー効率を高める仕組み。

8-2 自立分散型エネルギーネットワークの展開

自立分散型エネルギーネットワークの構築を促進します。

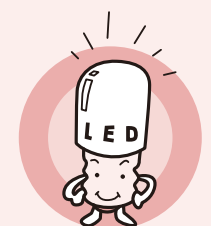
- 都心のエネルギー施策に関する将来像の検討を進めます。
- エリア単位でのエネルギー供給拠点の整備と、これらの供給拠点と建物などを結ぶネットワークの構築を促進します。
- 熱需要者であるビルのネットワークへの接続や、建築物の低炭素化などを促進する仕組みを構築します。
- 熱供給事業体³⁸の役割や将来像について、熱供給事業者などと検討・協議を進めます。
- 新さっぽろ駅周辺、真駒内駅周辺のまちづくりにおいて、既存の熱供給ネットワークを生かした効率的・安定的なエネルギー利用を検討・推進します。



8-3 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進

環境に優しいライフスタイルへの転換などを促進します。

- 市有施設へ太陽光発電や LED 照明、分散型電源などを積極的に導入します。
- 学校や青少年科学館、円山動物園における環境教育を推進するとともに、子どもたちが体験を通じて、考えながら学び、実践していくための学習機能の強化を図ります。
- 家庭におけるエネルギーの見える化の推進や、ビル単位でのエネルギー管理システムの導入を促進します。
- 省エネルギー普及促進事業を推進するとともに、市有施設における対策で得られた省エネルギーのノウハウを、民間施設へ普及させる取組を進めます。
- スマートコミュニティや街区単位でのエネルギーマネジメントなどの研究や普及に向けた支援を行います。



8-4 循環型社会の構築

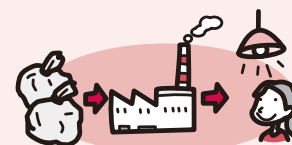
廃棄物の減量などを推進します。

- 生ごみの堆肥化を促進するとともに、ごみ減量行動のメリットの見える化などを推進します。
- 商店街など地域の事業者の連携による効率的な資源回収の支援・促進を行います。
- ごみ焼却灰の資源化や廃棄物系バイオマス資源の有効利用、使用済み小型家電に含まれる有用金属の資源化などを推進します。



高効率なエネルギー回収を推進します。

- 清掃工場において、ごみ焼却エネルギーをより効率的に回収するシステムを導入し、廃棄物発電や熱利用などを推進します。
- 近隣市町村とごみの広域処理に向けた取組を進めるなど、協力体制の充実を図ります。



³⁸ 【熱供給事業体】一定のエリアへ熱供給を行う組織。